

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらめキッズ大東		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	開所当時から継続勤務のスタッフが多く、経験を積重ねたスタッフによる療育が出来ていること	アプリを使用することにより、保護者様の要望や変更連絡などを即座に全職員が知れるシステムを取り入れています。	担当者会議に積極的に参加したり、相談支援や学校、他のサービスと連携をとるようすることで、事業所での一面と違う面を知りより細やかな支援となるように取り組んでいます。
2	柔道経験者による柔道の指導、保健体育教員免許取得者によるサッカー、バスケットボール、体幹トレーニングやサーキット等の運動療育、華道、茶道の専門の知識を持った人材によるプログラムの療育が出来ていること	6ヶ月迄の個別支援計画更新を待つことなく、保護者様の困りごとや学校での変化の都度で支援計画書を更新しています	子どもたちの変化に全職員が把握できるようにネットワークで繋がっており、同じ方向を向いた支援を心掛けています。
3	通所ごとに多彩なプログラムを提供し、家庭や学校では得ることの出来ない経験をしてもらえるように取り組んでいること	毎日違ったプログラムを設定しており、いろんな経験を積むことが出来ることで得意を見つけ出し伸ばすことが出来ています	今のプログラムに組み込むことが出来ることはないか、子どもたちに必要なことは何か、新しく出来た場所はないか等に常に新しい情報を掴もうとしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	強度行動障害の専門知識を持った指導員が少ない	事業帆として受身な体制であり、希望者を募ったりスキルアップの声掛けをせずにいたことと、そういう資格について情報発信をすることが少ない	強度行動障害の専門知識を持った指導員を増やしてゆくために研修を受けてもらえるように声掛けをし、希望者に研修を受けてもらいやすい体制を整えていく
2			
3			